

虹の架け橋

—ノ宮小学校 第1回学校評価だより 2018/9/21

秋の気配を感じる季節となってまいりました。1学期末には学校評価アンケートにお答えいただきありがとうございました。アンケートの結果を全職員で確認し、今後の取組について考える機会をもちましたので、お知らせいたします。これからも子どもたちの学校生活がより充実するよう努めてまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

I 学校との連携について

すべての項目でAとBが96%以上の高い評価をいただきました。特に、授業参観の後に行いました「親子で考えるすくすくプラン」や運動会には、ほぼ100%の保護者の方にご参加いただきました。そして、学校と保護者が共通理解をもちながら見守りや励ましを続けることが、子どもたちの力を伸ばしていくことにつながるということを教えていただきました。この後も子どもたちが活躍する行事が予定されています。ご都合をつけて是非ご参加ください。

学校からの便りについて、様子がよく分かるとの評価をいただきました。毎週お便りを作る担任の先生の負担が心配との声もいただきました。学級便りについては、週の予定とお知らせを基本とさせていただければと思います。今後も連絡や相談のしやすい学校・学級を目指してまいりますので、疑問に思うこと、聞きたいこと等、遠慮なくご連絡いただければと思います。お待ちしております。



運動会 応援合戦

①学校・学年・学級便り等でお子さんの活動や学習の様子をお伝えしていますが、分かりやすく伝わっていますか。	②授業参観やすくすくプラン、懇談会、運動会などの学校行事に参加していますか。	③学校では、電話連絡や連絡帳等により、連絡や相談がしやすいように心がけていますが、学校に連絡したり相談したりしやすいですか。

A:よい B:だいたいよい C:あまりよくない D:よくない

II 確かな学力について

本校では、確かな学力を育成するために、じっくり考え、しっかり表現させる授業の充実を全職員が進めています。1時間1時間の授業において、学習の「めあて」をきちんともたせ、課題解決に向けて一人一人にじっくり考えさせ、そして、考えたことをノートに書かせたり、説明させたり、友達の考えを読み取らせたりして、しっかり表現させ考えを深める授業を日々積み重ねております。今後、子どもたちが説明する学習活動を各授業において意識的に増やしながら、さらに基礎・基本の定着と活用する力の育成を図っていくことを職員で確認しました。



グループで自分の考えを説明

家庭学習については「すくすくプラン」での取組を生かしながら、ご家庭で約束を決めたり、励ましたりしながら継続していただいております。アンケートでは、「自主学習の取組は、様々なことに興味をもつきっかけや、こつこつと学習に取り組む習慣につながり、子どもたちが社会に出たときに間違いなく役に立つ経験となる」とのご意見をいただきました。より主体的に学習に取り組めるよう、また内容を充実できるよう、継続して指導してまいります。



すくすくプラン

読書活動においては、週末読書の取組を家庭でご協力いただきありがとうございます。学校では子どもたちがよく読書をする姿が見られます。休み時間に図書室に通う子も多くいます。これから秋の夜長の読書に最適な季節を迎えますので、さらに充実するよう国語での読書活動や、教科での関連する読書を促してまいります。ご家庭でもテレビを消して静かな環境を作り出して、読書の楽しさをお子さんと一緒に味わっていただければ幸いです。

④学校ではやる気や興味・関心を引き出すような授業になるように工夫をしていますが、お子さんの話や授業参観などからその様子がわかりますか。	⑤お子さんには、これまで学んできたことが身に付いていると思いますか。	⑥お子さんは、家庭で宿題や自主学習などを進んでいますか。	⑦お子さんは、家庭で読書をしていますか。

III 豊かな心(挨拶・言葉遣い)について

本校では、今年度も挨拶を重点として取り上げており、児童アンケートでは、進んで気持ちのよい挨拶をしていると回答する児童は95%と、児童の意識が高まっていることが分かります。保護者や地域の方からも挨拶や言葉遣いについてよい評価をいただいております。

保護者アンケートの中には、親が手本を示しながら、挨拶や丁寧な言葉遣いについて子どもたちに促したり注意しているというご意見が多くありました。今後も、学校では子どもたちのよい挨拶や言葉遣いを賞賛しながら、自信をもって行動できるよう、学活や道德等の授業や学校行事において指導を継続していきます。

⑧進んであいさつのできる子を学校では目指していますが、お子さんは、家庭や近所で進んで挨拶をしていますか。	⑨丁寧な言葉遣いを学校では指導していますが、お子さんは、時や場を考えた言葉遣いができていますか。

IV 豊かな心(心の教育)について

「楽しく学校に通っている」と95%の保護者の方に回答していただきました。また、友達を大切にする学校づくりについても94%の保護者の方から良い評価をいただいております。今後も、いじめはどの学校でも起こることを前提として、いじめは絶対に「しない・させない・見逃さない・許さない」を職員一同で常に確認しながら、児童が安心して心豊かに生活していけるように努めてまいります。また、相手の気持ちを考えた言動がよりできる児童、悪いことや間違ったときにも正直に話すことができる児童を目指して、道徳教育、人権教育を進めていきたいと考えております。



保健集会 生活リズム

<p>⑩お子さんは、楽しく学校に通っていますか。</p>	<p>⑪学校では、一人一人がいじめ0(ゼロ)宣言をするなど友達を大切にする学校づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>⑫お子さんは相手を考えた言動ができてきていると思いますか。</p>	<p>⑬お子さんは悪いことや間違ったことをした時、正直に話すことができますか。</p>

夏休みの「トライカード」の取組では、お家の方と工夫した取組をしていただき、ありがとうございました。アンケートからは、お手伝いやゲーム等のルールについて、継続できないとのご意見が多くありました。家庭での役割を果たすこと、そして、家庭での時間の使い方やメディアとの関わり方を学ぶことは、子どもたちにとって大切な学習です。今後、「ノーメディアデー」の取組や学校保健委員会、道徳、学級活動等を通して、メディアとの正しい向き合い方について指導してまいります。ご家庭でもメディアを消して読書等を家族一緒に取り組む等、秋の夜長の過ごし方を楽しんでいただければと思います。

<p>⑭お子さんは、家でお手伝いをしていますか。</p>	<p>⑮お子さんと、テレビを見る時間やゲームをする時間、インターネットの使い方などのルールを相談して決めていますか。</p>

V 健康づくりについて

朝食について、熱中症対策に味噌汁を毎朝食べさせているとのお話もいただくなど、子どもを学校に登校させる前に朝食を大切にしていることが、96%の高評価となって表れています。睡眠時間の確保については、ゲームやメディアとの関わりや、習い事や宿題に追われる等の理由からできていないとのご意見がありました。朝食を食べること、睡眠時間を確保することは、子どもたちが学校で力を発揮する原動力となりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

<p>⑯お子さんは、毎朝朝食を食べて登校していますか。</p>	<p>⑰お子さんは、8時間以上の睡眠がとれていますか。</p>

VI 安全確保について

日頃より登下校指導等の安全確保についてご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。学校では、安全な自転車の乗り方、歩き方について、登校班会議を計画的に設けたり、地域・保護者の方の情報により迅速な指導を行ったりして、安全指導を繰り返しております。施設についてのアンケートに、学校施設の老朽化に対し、水道など安全が確保されているのか心配であるのご意見がありました。学校では規則に基づいて高架水槽の清掃や毎日の水道水の点検を行っております。今後、異変があったときには直ちに使用をやめるとともに、精密な検査をして安全を確かめてまいります。また、下校の見守りボランティアへの感謝がアンケートに多数ありました。今後も児童の安全を第一に考え、家庭や地域としっかりと連携を取り合いながら、児童が安心して学校生活を送ることができる環境を整えていきたいと考えております。



1年生の初めての下校

<p>⑩学校では、毎月1日に安全点検を実施し、校舎の施設・設備が危険でないか点検していますが、学校の設備は安全だと思いますか。</p>	<p>⑨学校では歩き方教室や自転車教室、交通安全教室等を行うことで、安全に目を向けさせる指導を行っていますが、お子さんは、安全な歩行、自転車の乗り方ができていますか。</p>	<p>⑳学校では、交通指導や避難訓練、集団下校などを行っていますが、学校の安全指導が事故防止につながっていると思いますか。</p>	<p>㉑交通街頭指導や登下校見守り隊（更生保護女性会、神農原ネットワーク）などを通して、交通安全や防犯について、学校・家庭・地域とが連携して取り組んでいると思いますか。</p>

VII 児童の将来の夢や希望について

自分の得意なことや将来したいことを明確にして、その夢や希望に向かって努力していくことはとても大切なことだと考えます。

学校では、子どもたち一人一人に役割と責任を与え、その役割と責任をやり遂げることができるよう教師が支援し、授業、学級活動、学校行事、集会等で子どもたちが活躍する経験を大切にしています。そして自分の行動に自信をもたせ、認めることで自尊心を高めていきたいと考えます。運動会での団活動や、縦割り班活動では、高学年が中学年・低学年の子どもたちの手本となって主体的に活動する姿が見られました。

大切な一人一人のお子さんが、将来にわたり自分の理想や夢に向かって継続的に努力し続ける力を身に付けることができるよう、6年間を通して支援していききたいと思います。

<p>㉒お子さんの将来の夢や希望を知っていますか。</p>	<p>㉓お子さんはやるべき事が分かり、それを自信をもってできますか。</p>

貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。